



# さざんか



## 第7回 よいとこカーニバル



### 内容

- 理事長より
- ビジョン策定委員会
- 大阪ギフトショー
- 突撃！隣のグループホーム  
(あじさいホーム)
- ボランティア訪問
- 法人事業所見学会
- 事業所ミニだより
- 後援会会長より
- 後援会役員研修旅行
- 栄養士さん・看護師さんの知恵袋
- いくせい会まつり
- 人事・日誌
- お知らせ・めふプラザ工房通信
- 編集後記

発行 社会福祉法人 宝塚さざんか福祉会/宝塚さざんか福祉会後援会  
運営事業所 宝塚さざんかの家 宝塚あしたば園 宝塚めふプラザ 宝塚けやきの里 ワークプラザ宝塚  
かしの木工房 こはま いきいき宝夢 障害者就業・生活支援センター (あとむ)  
相談支援センター (だんぼ) 地域生活支援センター  
法人事務局/後援会事務局  
宝塚市安倉西3丁目1番5号 宝塚さざんか福祉会 電話0797-83-6544 FAX0797-83-2510



# 「宝塚さざんか福祉会」

## 松井理事長より

先輩の熱い思い大切に・・・

宝塚さざんか福祉会後援会の皆様をはじめ関係者の皆様方、いつも温かいご支援を賜りありがとうございます。当法人は育成会の先輩の熱い思いが結集して出来た法人です。設立38年を経過し知的障害者に必要な全福祉サービスを担う形で、事業規模も膨れ、法人の責任は大きく重いものとなっております。

また、利用者の高齢化も進み、施設の老朽化と不備も目立ってきました。知的に障害が有っても、其々に生きがいのある生活がして行けるように、可能な限りの支援をして行ける法人でありたいと常に考えております。今後ともご支援をよろしくお願い申し上げます。

(松井 美弥子)



# 第53回 大阪インターナショナルギフトショー春2015

3月4日、5日に「第53回大阪インターナショナルギフトショー春2015」が大阪OMMビルで開催されました。

宝塚さざんか福祉会としては今回で3回目の出展となります。自主生産品の工房である宝塚めふプラザは、「ものづくり」と、そこから生まれる商品を通して、社会参加を目指しており、世間一般の方に商品を評価してもらえ、貴重な機会として参加しています。

今まではシュニッテンや、織り製品、組紐製品、ステンドグラスと、見てほしい商品を出展だけたくさん展示していましたが、「何屋さんかわからない」「全種類を説明できる職員が少ない」などの反省点があり、今回は「組紐」に絞って出展することにしました。「組紐」作業はここ数年でかなり技術的にも上がってきているのですが、決定的な商品やSas anQualityでも売り上げが少ないのが現状で、キーホルダーやお守りなど、組紐を大量に扱う企業さんとの取引を期待しての選出でした。



## ビジョン策定委員会

### 「今後3～5年の間に優先的に取り組む施策」

「宝塚さざんか福祉会の存在意義は何か？どうあるべきなのか？」という法人経営の根本に係わる法人理念については、全職員から意見を募って、昨年4月に次のように制定しました。

#### 法人理念

- 1 法人は、利用者一人ひとりの想いを大切にし、これを共有し、その想いが実現できるよう支援します。
- 2 職員は、職業人としての自覚を持ち、自ら資質の向上を図り、豊かな人間性の醸成に努めます。
- 3 法人は、地域と共に暮らし、地域と共に活動して地域のコミュニティ発展に寄与します。

この法人理念は、宝塚さざんか福祉会の進む方向を示す指針ですが、理念実現は、一朝一夕に達成できるものではありません。このため、昨年度「ビジョン策定委員会」を設置し、理念実現に向けて、当面優先的に取り組むべき施策について検討を行いました。

その結果、「今後3～5年の間に優先的に取り組む施策」を次のとおり策定しました。

施策実現には財源の確保、人材の確保そして法的規制のクリアーなど克服すべき課題が山積していますが、職員一丸となって一歩一歩着実に具体化を図っていきます。

#### 今後3～5年の間に優先的に取り組む施策

- 1 新規利用者の受け入れ  
安倉南作業所を事業所に・老朽化した宝塚めふプラザの建替・製パン等の従たる事業所開設
- 2 利用者の地域生活支援  
障害者地域生活安心拠点の整備・グループホームの継続的整備とサテライトホームの開設
- 3 施設等の高齢化対策  
いきいき宝夢のエレベーター設置と浴槽改修・グループホームのバリアフリー化・介護予防や機能維持に視点を置いた支援
- 4 支援の在り方、内容  
各事業所の支援機能の明確化・利用者の事業所間移動の推進・第三者評価の実施
- 5 人材確保、人材育成  
多様なルートからの人材確保・幅広い年齢層の職員体制・事業展開を見越した専門職の採用・研修体系を確立・管理職研修を充実、強化
- 6 地域貢献事業（成年後見事業への貢献）
- 7 危機管理・事業継続計画（BCP）の策定



当日の参加職員も自主生産販売の連絡会で話し合い、相互利用で組紐作業に来ているさざんかの家にも協力してもらいました。

企業からの反応は思いのほか上々で、息つく暇もなくお客様がお見えになりました。100部用意していたパンフレットも一日で残り少なくなり、増刷して述べ150部を配布しました。

商品の中では「かんざし」が高い評価を頂き、「手作りならばもっと高い値段をつけるべきだ」と全体的に値段が安いという意見でした。

取引で問題になったのはやはり生産性と卸価格で、「かんざし」は1日に1個しかできない事、卸価格も3割引きではなく5割が当たり前であることを教えてもらい、価格を付ける難しさを感じました。

に興味を持ってもらい、百貨店での販売をさせて下さる企業が1社と合計5つの企業と、繋がる事が出来ました。百貨店販売については、京阪百貨店の守口店でGWの1週間の催事を行い、10万6千6百円を売り上げました。初めての事や分からない事も多々ありましたが、自分たちが利用者支援に対しても大切にしている「可能性を信じて取り組む事の大切さ」を実践・実感することができた良い機会であったと思います。今後も社会との接点となるような良い仕事に巡り合えるように、挑戦を続けていきたいと思えます。

(広報部・宝塚めふプラザ所長 溝田康英)





# 突撃！隣のグループホーム

## 第十二回 あじさいホーム

4月21日火曜日、安倉中の男性4人の「あじさいホーム」を訪ねました。平成14年に育成会が開設し、平成19年にさざんか福祉会に運営移管された、古資格のホームだそうです。

### ☆夕食時に失礼します♪

一寸緊張してチャイムを鳴らすと支援員の渡邊さんがにこやかに出迎えて下さいました。彼はこの4月に「いきいき宝夢」から転勤されたばかりだそうです。

2階のリビングでは土山さんが大好きなテレビを見て寛いでいました。彼は美座小学校近くの企業に勤め伝票整理のお仕事をされていて、自転車通勤だそうです。

松井さんはあしたば園まで徒歩で通っているそうで、帰路、支援員さんと近くを散歩しながら帰って来られるのが日課とか。

高瀬さんは尼崎の運輸会社へ、岡野さんは三田の運輸会社へそれぞれ大阪神バスとJRを乗り継ぎ、最寄駅から会社の送迎バスで通勤だそうです。

帰宅時間もバラバラなので、夕食は帰宅された方から順次18時頃から19時までに摂られるそうです。私達は土山さんと松井さんの4人で先に夕食を頂きました。



今夜の献立は「肉じゃが」「ポテトサラダ」「青菜のお浸し」「お味噌汁」で、ヘルシーでとっても美味しかったです。

調理員の伊藤さんは6月で丸3年目。調理、日勤、夜勤もこなされているそうです。献立をたてられる際は、利用者さんの健康食を考慮し「ご飯の量や減塩・低カロリー」にも配慮されているとか。そして利用者さんの希望や「あしたば園」の昼食と重ならない様になさっているとか。



私達が食事を終えるころ、高瀬さん、岡野さんが順次帰宅され、支援員の渡邊さんと一緒に夕食です。岡野さんは帰るなり「今日はお洒落してるやん」と渡邊さんにジョークを飛ばされるお茶目な一面を見せてくれました。

皆さん、好き嫌いなく綺麗に見事平らげ、配膳や片づけも自発的にされているのでびっくり！渡邊さんは「自分で出来る事は自分でするように」と支援なさっているとか。

例えば、  
\*洗濯物は自分でたたんで自室に収納。  
\*服装も自分で選ぶ（気候に依りアドバイスはなさるそうです）。  
\*毎日の布団の準備、収納も自分で。

\*配膳・食後の食器を流し台まで運ぶ。  
\*入浴支援も必要な人のみ。

### ☆個室拜見

1階の岡野さんのお部屋の壁には、自作の2千ピースのミツキーのジグソーパズルが掛り、大きなエアロバイクが鎮座。毎日負荷をかけて頑張り少し痩せたそうです。他に音楽とアニメが趣味だとか。

隣部屋の高瀬さんは、ちようど洗濯物を畳まれています。とても几帳面な性格が伝わります。趣味はジャズダンスやクラシックギターで教室にも通われているとか。寝る前には必ず小遣い帳を記入されるそうです。

2階リビング隣の松井さんは自室の布団の中でTVを見て過ごすのが好きだとか。勿論、布団はご自分でひかれます。恥ずかしがりやで照れた笑顔が素敵です。

3階の土山さんはTVが大好きでドラマ・アニメ、大好きな巨人の野球観戦が楽しみだとか。写真の掲載は恥ずかしいから駄目だそうでナイーブな一面も伺えました。

夕食後は其々の過ごし方をされるそうですが、毎週水曜日20時からはみんなでお茶とお菓子とお喋りの時間だそうです。貴重な時間を割いていただき本当に有難うございました。



(広報部)

## ボランティア訪問

10年ぶり2回目の登場！

### 「レイン」の会

八重桜が残る道を大急ぎで「あしたば園」へ自転車走らせました。早くから今回の訪問を楽しみにしていましたが連絡がうまく取れず、4月15日（水）突然の訪問になってしまいました。

「あいにく今日は少し早く終わってしまいました」と言いながら6名の方たちが待ってくださっていて、お話を聞くことが出来ました。「ラルゴの会は利用者さんたちがとても楽しみにしておられます。人気があり、希望されている70名の方を2グループに分けて行われています。従って2か月に1度の参加になります」と、同席してくださった所長さんから利用者さんの様子が聞けました。

阪神養護学校時代の先生たちが定年を機に卒業生のいる「あしたば園」で、15年前に男性を含め5人で、このボランティア活動をスタートされたようです。「ラルゴの会」の名前の由来はイタリア語で、ゆるやかに、ゆったりという音楽用語だそうです。それをモットーに3名の方がこの



会の誕生以来携わって、

現在も活動

してくださっ

ています。

その間ピア

ノ担当の方

が抜け、し

ばらく困っ

た時期もあっ

たようでしたが保護者の方から協力者を得

て、今は一緒に活動されているようです。

ずっと続けていらっしやる方の中には大病

を経て、今もなお頑張って活動されている

方もいらっしやいました。「かつての教え

子たちが音楽が好きで、その笑顔で始めた

この活動が今は私の活力にもなっています」

とのお言葉も出ました。「始めた頃は私た

ちも若くいろいろやりました。小道具など

を使って劇や民話朗読なども。今は、音楽

活動のほか手遊びやゲームなどをしていま

す」との事でした。セリフが覚えにくくな

り、体力的に続けることがしんどくなりつ

つあると冗談交じりに言われながらもマン

ネリ化することを気にされる元先生らしい

エネルギーシチュな言葉も次々出ていました。

若いメンバーも先輩先生の姿を見ながらき

とこの貴重な活動を続けてくださるだろう

と思いますし、願っています。

機会があれば利用者さんが楽しまれている様子を見学に行きたいと思えます。

(広報部)



## 事業所見学会

### 安倉南作業所と安土夢ホーム1・2

2月6日（金）、見学者40名が「さざんかの家」に集合、歩いて約5分の安倉南作業所に到着。バリアフリーの施設内は医務室やシャワー設備もあるトイレ、広い更衣室など穏やかな動きの利用者さんへの配慮がありました。竹内主幹から仕事内容や、利用者さんの持つ力を再発見した事等の話を聞きました。

歩いて数分の安土夢ホーム1・2に移動し、2グループに分かれてホーム内を見学。ドアを開けた瞬間、新築の香りが漂い窓からの光が全体を明るくしていました。ダイニングテーブルの上にはカラフルなふたの小さな容器が並べられ、中にはシャンプー、リンス・歯磨きが入って量の調整が出来ない方への対応があり、絵カードを使って予定や行動がわかりやすいように支援をしているとのことでした。階段は広く、4つの部屋が一度に見渡せるような設計となっていました。各部屋はその人なりの個性があり、微笑ましいものでした。利用者さんの状態にあわせて使いやすく工夫がされていました。

そのあと喫茶店でケーキとお茶を頂きながら畑センター長からホームの歴史と現状を聞き充実した見学会でした。

(事業部)



カラフルな容器と絵カード



# 突撃！隣のグループホーム

## 第十二回 あじさいホーム

4月21日火曜日、安倉中の男性4人の「あじさいホーム」を訪ねました。平成14年に育成会が開設し、平成19年にさざんか福祉会に運営移管された、古資格のホームだそうです。

### ☆夕食時に失礼します♪

一寸緊張してチャイムを鳴らすと支援員の渡邊さんがにこやかに出迎えて下さいました。彼はこの4月に「いきいき宝夢」から転勤されたばかりだそうです。

2階のリビングでは土山さんが大好きなテレビを見て寛いでいました。彼は美座小学校近くの企業に勤め伝票整理のお仕事をされていて、自転車通勤だそうです。

松井さんはあしたば園まで徒歩で通っているそうで、帰路、支援員さんと近くを散歩しながら帰って来られるのが日課とか。

高瀬さんは尼崎の運輸会社へ、岡野さんは三田の運輸会社へそれぞれ大阪神バスとJRを乗り継ぎ、最寄駅から会社の送迎バスで通勤だそうです。

帰宅時間もバラバラなので、夕食は帰宅された方から順次18時頃から19時までに摂られるそうです。私達は土山さんと松井さんの4人で先に夕食を頂きました。



今夜の献立は「肉じゃが」「ポテトサラダ」「青菜のお浸し」「お味噌汁」で、ヘルシーでとっても美味しかったです。

調理員の伊藤さんは6月で丸3年目。調理、日勤、夜勤もこなされているそうです。献立をたてられる際は、利用者さんの健康食を考慮し「ご飯の量や減塩・低カロリー」にも配慮されているとか。そして利用者さんの希望や「あしたば園」の昼食と重ならない様になさっているとか。



私達が食事を終えるころ、高瀬さん、岡野さんが順次帰宅され、支援員の渡邊さんと一緒に夕食です。岡野さんは帰るなり「今日はお洒落してるやん」と渡邊さんにジョークを飛ばされるお茶目な一面を見せてくれました。

皆さん、好き嫌いなく綺麗に見事平らげ、配膳や片づけも自発的にされているのでびっくり！渡邊さんは「自分で出来る事は自分でするように」と支援なさっているとか。

例えば、  
\*洗濯物は自分でたたんで自室に収納。  
\*服装も自分で選ぶ（気候に依りアドバイスはなさるそうです）。  
\*毎日の布団の準備、収納も自分で。

\*配膳・食後の食器を流し台まで運ぶ。  
\*入浴支援も必要な人のみ。

### ☆個室拜見

1階の岡野さんのお部屋の壁には、自作の2千ピースのミツキーのジグソーパズルが掛り、大きなエアロバイクが鎮座。毎日負荷をかけて頑張り少し痩せたそうです。他に音楽とアニメが趣味だとか。

隣部屋の高瀬さんは、ちようど洗濯物を畳まれています。とても几帳面な性格が伝わります。趣味はジャズダンスやクラシックギターで教室にも通われているとか。寝る前には必ず小遣い帳を記入されるそうです。

2階リビング隣の松井さんは自室の布団の中でTVを見て過ごすのが好きだとか。勿論、布団はご自分でひかれます。恥ずかしがりやで照れた笑顔が素敵です。

3階の土山さんはTVが大好きでドラマ・アニメ、大好きな巨人の野球観戦が楽しみだとか。写真の掲載は恥ずかしいから駄目だそうでナイーブな一面も伺えました。

夕食後は其々の過ごし方をされるそうですが、毎週水曜日20時からはみんなでお茶とお菓子とお喋りの時間だそうです。貴重な時間を割いていただき本当に有難うございました。



(広報部)

## 事業所見学会

### 安倉南作業所と安土夢ホーム1・2

2月6日（金）、見学者40名が「さざんかの家」に集合、歩いて約5分の安倉南作業所に到着。バリアフリーの施設内は医務室やシャワー設備もあるトイレ、広い更衣室など穏やかな動きの利用者さんへの配慮がありました。竹内主幹から仕事内容や、利用者さんの持つ力を再発見した事等の話を聞きました。

歩いて数分の安土夢ホーム1・2に移動し、2グループに分かれてホーム内を見学。ドアを開けた瞬間、新築の香りが漂い窓からの光が全体を明るくしていました。ダイニングテーブルの上にはカラフルなふたの小さな容器が並べられ、中にはシャンプー、リンス・歯磨きが入って量の調整が出来ない方への対応があり、絵カードを使って予定や行動がわかりやすいように支援をしているとのことでした。階段は広く、4つの部屋が一度に見渡せるような設計となっていました。各部屋はその人なりの個性があり、微笑ましいものでした。利用者さんの状態にあわせて使いやすく工夫がされていました。

そのあと喫茶店でケーキとお茶を頂きながら畑センター長からホームの歴史と現状を聞き充実した見学会でした。

(事業部)



カラフルな容器と絵カード





# 事業所だよ

## 宝塚けやきの里

「さざんかよいとこカーニバル」

一人ひとりの想いの実現へ

けやきの里では参加される方たちが安心・安全に過ごして頂く事を目標に毎年、反省と課題の改善に向けて取り組んできました。



利用者の方たちの把握という点で現状の職員の数では難しい部分があったので日頃からボランティアの方に声をかけさせて頂いたところ、今回はなんと10名の方に参加して頂くことが出来付き添いに関してもほぼマンツーマン対応が可能となりました。

皆さん例年よりも楽しまれた様子でとても良い表情をされていました。

このような御縁に恵まれたことに感謝し、今後もボランティアの方たちのお力を借りながらカーニバルだけでなく、他の行事においても参加者一人ひとりが満足できる内容になるよう挑戦して行きたいと思えます。

(主任 野口能史)

## 宝塚さざんかの家

「一致団結」

昨年度は一日通しての参加でしたが、昨年度の反省を活かし、今年度は午前と午後に分けての参加となりました。

利用者の方によっては一日参加される方もおられました。よいとこカーニバルが楽しみで、ソワソワと待ちきれない様子も、ちらほら見られました。皆さん良い表情で参加されていました。

今年度はさざんかの家の保護者会より、さざんかの家のオリジナル商品(自主生産品)の販売を行いました。保護者、利用者、支援員のチームワークで沢山売り上げることが出来ました。

(和田鮎実)



## 宝塚あしたば園



「個別に合わせたイベント参加」

祭り当日の朝は空を厚く覆っていた雨雲、夜中にふった雨でぬかるみが残る地面を見つめて天候回復を祈りました。

晴れ間が広がり予定通り屋外でカーニバル開催できる事が嬉しかったです。

「あしたば園発カーニバル会場行き」の往復バスを運行し、小グループ毎にカーニバルに参加しました。

焼きそば、たこ焼き、アメリカンドッグ他美味しいものを満喫したり、仮面ライダーとの握手で大興奮の方もいました。

参加時間も食の好みも人それぞれ。リラックスした表情や楽しい笑顔が沢山見られた事が何よりの収穫でした。

(所長 山下知二)

## かしの木工房 さほま

「それぞれのカーニバル」

かしの木工房こはまの皆さんは、「スタジオPC」でジャズダンスに出演される人が何かいて、晴姿(はれすがた)を見てほしい人とそれを見に行き応援したい人達がいます。

又買い物好きな人が多く何を食べようか、何を買おうかと待ち望んでいた人が多くいます。そんな皆さんの希望を叶えられるように、シートと椅子を用意して、できるだけ行きたい時に職員と一緒に見に行つて、戻りたい時に戻って来ては休憩できる、かしの木の場所を設けました。それによって皆さんが穏やかに楽しめるようにしています。

(山崎 亮)



## いきいき宝塚

「縁の下の力持ち」

いきいき宝塚では、高齢化等で週末もいきいき宝塚で生活する方が増えていることから、例年よいとこカーニバルの担当職員のみが参加する状態が続いていました。

しかし、今年度はいきいき宝塚の日常活動で取り組んでいる「再生資源回収活動」の一環として、空き缶回収という形でよいとこカーニバルを盛り上げました。

会場内の空き缶を熱心に集め、再生資源回収活動に汗を流していました。大盛況のよいとこカーニバルを「縁の下の力持ち」として支えることができたことを光榮に思っています。

(所長 大谷武志)



## ワークフラザ宝塚

「さざんかよいとこカーニバルそれぞれ」

「よいとこカーニバル」に向け、ワークプラザ宝塚ではいきいき宝塚と合同で恵美寿(えびす)としてステージに出演する為に、毎日お昼休みを利用して歌や踊りの練習を重ねてきました。



年に一度、の行事を少しでも盛り上げようと、職員・利用者一緒にアイデアを出し合いながら選曲し、みんなで合唱できるように歌詞を覚え、手話ができる方は歌詞に合わせて手話が行える様に練習し、それぞれ自分が出る事を一生懸命やってきました。

最高のステージを創る為にみんなで力を合わせて頑張りました!!

(原田涼平・職員一同)



### サザンクオリティ

「各催し場での販売」  
 サザンクオリティでは出店先に応じてお客様が商品を見やすい様、手に取ってもらい易い様に商品のラインナップや陳列方法等様々な工夫を行っています。

又次年度につながる為にもデータの収集やお客様との会話を大切にしその声に耳を傾ける様に行っています。

今後もお客様に喜んで頂ける様な店舗作りを生かしていきたいと考えています。

(主任 橋本悟)



### 宝塚のふらざ

『チームめふ』のカーニバル

今年のおよとこカーニバルは『チームめふ』という名前で、めふプラザからは24名の内11名の利用者が参加できました。

ステージでは、昼休みに練習をしていたTRFの「アジードウーダンス」と、宝塚1万人のラインダンスの2曲を11名と職員全員で力一杯踊り、披露しました。

販売では自治会メ

ンバーを中心にしておにぎり、ソフトドリンクの販売を行いました。おにぎりは200個、お茶も200本用意していましたが、事前に用意していた分では足りなくなり、ドリンクは途中で買い足すほどの売れ行きで、お祭りの最後には見事に全部売り切ることが出来ました。得た収入は、行事の時の自治会のレクリエーションで使用するつもりです。

保護者の方もお店を手伝ってくれ、最初は雨でどんより気分が始まったお祭りも、笑顔の晴れ間がたくさん見られたお祭りになりました。

(館谷誠)



### 小田切会長より...

皆様こんにちは。平素は宝塚さざんか福祉会後援会活動に深いご理解ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

新年度を迎え、これからの後援会をどのように進めていけばよいか、一案をご提案させていただきます。

平成26年度、九州への役員視察研修を実施しました。これは、常日頃うかがうことができない遠方の施設見学で、同じ環境をもつ他の事業所を見学することによって、新しい発見、体験等を取り入れるきっかけ作りに役立つこと。

また、職員・会員の親睦情報交換を、時間をかけて行うことを目的としました。今後、このような視察研修等で得た情報を、法人職員、保護者、後援会会員での勉強会に大いに役立てていきたいのです。先般の視察先で、送迎タクシー利用、実地調理接客模擬訓練、さざんか福祉会で取り入れていない事業見学、施設の建て方、施設と行政の取り組み方等、お話しすることは無限です。

どこの施設も高齢化問題が進む今日この頃、とても深刻です。そして、利用者的人数も増加の一途です。働きやすい、過ごしやすい環境を、そして全ての方がいつも「笑顔」で過ごせる宝塚さざんか福祉会でありたいのです。そのため、勉強会を後援会で進めさせていただきたくご提案とさせていただきます。

皆様の忌憚のないご意見を本当にお聞かせいただきたいと思います。よろしくご願ひ申し上げます。温暖化等で気候が安定していません。皆様お体にはご自愛くださいませ。 感謝

### 役員研修旅行

平成27年3月10日～11日

### 共に豊かで明るく社会をめざす

後援会としては初めての泊研修旅行に行ってきました。参加者は後援会からは会長をはじめ5名、法人から理事長、常務理事、主任職員の計8名です。

1日目の視察先は小高い丘の中腹にある福岡県太宰府市の「宰府福祉会」です。ここでは主に手作りの木工を製造販売しています。それぞれ役割り分担作業で製造。最近、役所の注文で役職名をレーザーで焼き付けた席札は好評だったとのこと。

次の視察先は「春日市福祉パレット館」で市の中心に位置しています。経営主体は春日市で「障がいがある人もない人も、共に豊かで明るい社会をめざす」をコンセプトに自由に交流できる機会と場を提供しています。建物は隣接する春日小学校のグラウンドとつながって来てお互いに行き来できる構造になっています。

交流スペースでは地域の人の作品の展示や授産品の販売、喫茶コーナー



### ふたつが...お風呂へ

ではランチがいただけます。

就労支援センターの工房ではビーズ作品やさおり織の作業をされ、また別のコーナーではパン、洋菓子を製造されていました。

生活支援センターの浴槽が利用者さん、介護者とともに楽に使用でき、短時間で浴槽内の湯を入れ替えられる構造で、「宝塚さざんか福祉会」でもサービスの一貫として導入しては?という声が上がりました。

2日目は大分市郊外にある「社会福祉法人シンフォニー」を視察しました。ここでは、いづれ地域で働くことを目指すならははじめから就労訓練そのものをまちの中でする考えで、公共の建物の中に喫茶・レストランを開業されたそうです。

就労継続支援A型レストラン「ネバーランド」を県庁職員食堂、看護科学大学、芸術文化短大の学食など7箇所に進出し、訓練をしっかり受けた利用者さんが施設の職員と共に働いています。私達はネバーランド県庁店で安価でおいしい昼食を頂きましたがメニューも豊富で、注文の間違いを防ぐ為にテーブルに番号カードを置くなど工夫されていました。また、メンテナン作業チームも編成したそうです。他は草刈、ガラス清掃作業やリサ



イクル工場で選別作業、菓子箱組立、包装作業等各利用者さんに適した仕事を振り分けられているようです。

送迎バスはなく公共交通機関での通所が基本ですが、どうしてもバスの乗車が難しい利用者さんはバスと同額の費用で乗合タクシーを利用するそうです。車の維持費、人件費、事故等はタクシー会社負担なので安心とのこと。

利用者さんも、毎日接するタクシーの乗務員さん達と親しくなり、お互いの理解と安心が育まれているので、休日の外出時にも違和感なく利用できるようなったそうです。

2日間の視察で学ぶところは多く、とくに地域性なのか障がい者の受け入れ態勢や啓発活動ができていかに思えました。参加者の感想はさまざまで立場が異なるからこそ見えるものがあり「宝塚さざんか福祉会」の今後に活かしていきたいものです。

(広報部)







### 「看護師さん・栄養士さんの知恵袋」



笑顔に会いたくて

さざんかグループホームは現在20ホーム、85名が利用されています。私は皆さんの健康を守りより楽しい生活が送られるようホームを巡回する看護師です。

生活の様子は、毎朝支援員より届く「日報」で確認します。85名の方たち一人ひとりがどのような体調で過ごしていたのか。大きな事故や怪我、病気の前兆はなかったのか。ぐっすり眠れているのか。「日報」には夕食、朝食のメニューから、夕食後の過ごし方まで実に細かく記載されています。

出勤して巡回開始までの2時間、「日報」を読みながらそれぞれのホームをイメージします。夕食後高熱があった方、軽い発作があった方、入浴時に発見した小さな傷。支援員からの報告に神経を集中させます。そして、ちよつと気になる利用者の方々の、その後が知りたくて巡回を始めます。巡回時はたいいてい夕食、入浴中で、みなさんともいい笑顔。心配で駆けつけたのに「あれ？」と感ずることが大半です。「母親に勝るナースはいない」どこかで聞いた言葉ですが、確かに日々暮らしを共にしている支援員が、一番の良き理解者であり、よきナースなのでしょう。適切な処置で大事には至らない事がほとんどです。しかし、巡回することで事なきを得た事もあります。

日々の暮らしの中で、時には「外食」の日を作り、それぞれの誕生日を祝い、一人ひとりが認められ、尊重されるホームの暮らしの中で、初めて「いい笑顔」が増えます。私はいきいき宝夢に会うために、私は今日もホームを訪ねます。



看護師 垣下 貞子

### 《山での栄養学》

みなさん、新緑のきれいな季節にハイキングや山登りに行かれましたか？  
すばらしい景色もいいのですが、私としては、自然の中で食べる食事や行動食（おやつ）が一番の楽しみなのです。



山での昼食  
山登りでは、すぐにエネルギーになる炭水化物が基本です。さらに、エネルギーに変える助けをしてくれるビタミンB1を多く含む食品（豚肉や豆類、玄米、麦など）も一緒にとりましょう。

例えば・・・  
お赤飯や豆ごはん、ぎんなんや干しいたけで炊き込みごはん、鮭や焼たらこを、おにぎりの具にしてみはどうですか。  
行動食（おやつ）  
長時間の運動のため、エネルギー不足にならないように、途中で行動食をとりましょう。

私は、チョコレートと一緒に、ナッツ類を食べるようにしています。ナッツに含まれるビタミンB1が糖質をエネルギーに変える手助けをしてくれ、ビタミンB2が脂肪分をエネルギーに変える手助けをしてくれます。  
また、バナナはエネルギーが変わる速さが違う3種類の糖質やビタミンB1が含まれており、朝食や行動食として優れたものです。効率よくエネルギー補給をして、ハイキングや山登りを楽しんでください。

栄養士 藪内かずみ

### 人事



#### I 1月1日付人事異動

- 1 職員  
相談支援センター 山本 健一（新規採用）
- I 4月1日付人事異動  
相談支援・権利擁護担当参事 今西 則行（相談支援センター所長兼務）

#### 2 所長級

- 宝塚あしたば園所長 山下 知一（宝塚あしたば園主任）
- かしの木工房 こはま所長 田畑 敦彦（新規採用）
- さざんかグループホーム所長 辻井 善弘（宝塚あしたば園所長）

#### 3 主任級

- 宝塚あしたば園主任 大西 僚太（宝塚あしたば園）
- かしの木工房 こはま主任 木ノ下 美智代（かしの木工房）

#### 4 職員

- 宝塚あしたば園 渡部 奈美（健康管理室）
- 宝塚あしたば園 財津 雅代（健康管理室）
- 宝塚あしたば園 元治 里恵（いきいき宝夢）
- 宝塚あしたば園 宝塚けやきの里 広瀬 哲治（さざんかグループホーム）
- 宝塚あしたば園 任用替 石澤 千里（ワークプラザ宝塚）
- 宝塚あしたば園 任用替 直人（かしの木工房 こはま）
- 宝塚あしたば園 任用替 仲川 美智代（健康管理室）
- 宝塚あしたば園 任用替 深見 琢磨（いきいき宝夢）

#### 5

- 宝塚あしたば園 山条 幸介（新規採用）
- 宝塚あしたば園 近藤 由果（いきいき宝夢）
- 宝塚あしたば園 田中 基彦（新規採用）
- 宝塚あしたば園 宝塚めふプラザ 田中 基彦（新規採用）
- かしの木工房 こはま 樋口 真麻（新規採用）
- かしの木工房 こはま 玉井 小恵子（健康管理室）
- 宝塚あしたば園 橋川 杏奈（新規採用）
- 宝塚あしたば園 奥野 和彦（宝塚けやきの里）
- 宝塚あしたば園 後中 高典（新規採用）

#### 6

- 宝塚あしたば園 臨時職員 田畑 佳世（新規採用）
- 宝塚あしたば園 臨時職員 島田 茂（新規採用）
- 宝塚あしたば園 3月31日付退職 畑 光人（地域生活支援センター長）
- 宝塚あしたば園 塩足 享（かしの木工房 こはま所長）
- 宝塚あしたば園 小形 和恵（宝塚あしたば園の家）
- 宝塚あしたば園 山本 萌薫（めふプラザ）
- 宝塚あしたば園 池内 裕子（相談支援センター）
- 宝塚あしたば園 鵜澤 圭子（かしの木工房 こはま）
- 宝塚あしたば園 住田 裕暁（さざんかグループホーム）

### 日誌

自平成26年12月1日  
至平成27年4月30日

- 12月5日 さざんかの家 日帰り旅行
- 12月6・13日 さざんかの家 凧作り教室
- 12月5・6日 かしの木工房 こはま 1泊旅行
- 12月17日 さざんかの家 もちつき大会
- 12月17日 さざんかの家 もちつき大会（すみれライオンズクラブ主催）
- 1月9日 あしたば園 もちつき大会
- 1月16日 さざんかの家 保護者合同新年会
- 1月20日 かしの木工房こはま・サザンクオリティー 西谷会館にてお菓子作りで交流会
- 1月27日 けやきの里 保護者合同新年会
- 1月28日 めふプラザ もちつき大会
- 2月6日 後援会法人施設市民見学会
- 3月4・5日 大阪ギフトショー 出展
- 3月7・11日 「きらりと輝くアート展」出展
- 3月8日 いきいき宝夢・ワークプラザ 長尾地区合同避難所開設訓練参加
- 3月11日 さざんかの家 東日本大震災支援プロジェクト「揚がれ！希望の凧」参加
- 3月17・22日 めふプラザ 兵庫県障がい者芸術祭 美術工芸展へ出展（原田の森ギャラリー）
- 4月1日 かしの木工房こはま・サザンクオリティー 宝塚阪急百貨店にて宝塚フィナンシエ発売
- 4月30日～5月6日 めふプラザ 京阪百貨店守口店 催事販売

### いつせいの会まつり〜2月21日(土) 還暦お祝いの会

盛大なお祭りの中で、手をつなぐ育成会主催の還暦のお祝いの会が行われました。

宝塚さざんか福祉会の利用者さんは3名おられました。今回が初めてのお祝い会でしたので、還暦の方も還暦を過ぎた方も一緒に行われました。赤いレインをかけて会場に。育成会会長より表彰状と記念品が手渡され、温かい拍手に皆さまとてもいい笑顔でした。

昭和52年に設立した福祉会も38年目になり利用者さんも高齢化になってきました。これから高齢化の色々な面で問題が出てくると思いますが、福祉会の職員、ご家族、地域の方に見守られ安心して過ごされるようにと心から願いました。（広報部）





# お知らせ

3月に日本財団より宝塚けやきの里に福祉車両の配備をしていただきました。

車体にデザインしてある顔と手が、カラフルな色合いで見ていると元気になる、楽しくなる、顔晴れる(がんばれる)気持ちになります。

福祉車両を希望した理由としては、自力でご家庭から施設まで公共交通機関を利用して通所出来ていた方が高齢になり、体力的に自力での通所が難しくなる、またご家族が高齢になり送迎が難しい場合、“本人の通所したい”という思いを大切に、その思いを実現できるようにするためには車の台数が足りなくなる事が予測されていたため、この度の福祉車両の配備は歓喜となりました。

送迎以外の日中活動においても今後は使用していきたいと考えています。

(所長 平賀浩子)



## めふぷらザの工房通信

宝塚市手工芸展に『織の反物』を出展しました。急だったのですが、その時に丁度出来上がった反物を3本を出展しました。独



創性を認められ、佳作(すみれ賞)を頂きました！賞金一萬円で年末にみんなで祝賀会を行いました。また、12月8日の兵庫県手

をつなぐ育成会主催の障害者施設・事業所授産品コンテストでは、織の『名刺入れ』が縫製の高い技術も認められてグランプリに。ステンドの『レインボーアロマランプ』がデザインと巧緻性が認められ、準グランプリに選ばれました。

さすがチームめふ!!! 利用者・職員みんなで頑張りました。

サザンクオリティーにて販売中です。お買い上げよろしくお願いたします。



## 編集後記

長い間広報部員として携わってきましたが、後援会の初めての一泊役員研修旅行に参加しました。強行スケジュールで疲れましたが、その分得るものも沢山ありました。

視察先の「宰府福祉会」と「社会福祉法人シンフォニー」の取組みは「宝塚さざんか福祉会」で導入出来ること、難しいこと等、学ぶところはいろいろあるように思いましたが私個人にとつてなによりも良かったことは、長い道中で利用者さんの保護者や職員の方など、いろいろな立場の方とコミュニケーションがはかれたことです。リーダーの方々がどれだけ精力的に活動され、どんなご苦労があるかなど「親の会」の現状の一部が垣間見えました。

また、N主任の仕事への情熱を聞かせてもらったのは嬉しい出来事でした。

四月から「宝塚さざんか福祉会」に新しい職員が数名入られたそうですが、この仕事を好きでやりがいがあると感じて頑張って欲しいと思っています。

今回の研修旅行で得た貴重な多くのものを今後の広報誌づくりにどう活かせるかが課題です。

(広報部 柴田 瑞枝)

